

戦略的プロジェクト(案)

1. 戦略的プロジェクトとは

戦略的プロジェクトは、基本計画で定める事業の中で、今後5年間で特に重点的に取り組む事業を4つの基本目標ごとに整理し、「桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映するものです。内閣府の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において示される「第2期における新たな視点」を踏まえ、地方創生により実現すべき5つの目標と、そのための4つの取組の視点を設定した上で、プロジェクトとして取りまとめました。

■ 桜井市における地方創生の取組方針

2. 戦略的プロジェクト

基本目標① 魅力的な働く場を創出する戦略的プロジェクト

＜まちの将来の姿＞

幹線沿いへの企業の出店や、空き店舗等を活用したサテライトオフィスの誘致を推進するとともに、様々な業種を組み合わせ付加価値を高める 6 次産業化に取り組むことによって、働きたい、働きやすいと感じられる魅力ある「働く場」を創出し、働く意欲のある全ての人が桜井市内で活躍しています。

■魅力的な働く場を創出する戦略的プロジェクトの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
稼げる 1 次産業の創出	1 次産業の効率化の推進	● 最新技術の活用促進等による農林業の高収益化 ● 森林環境の適切な保全
特色ある 2 次産業の創出	2 次産業の効率化の推進	● 生産の効率化・省力化を推進する先端技術の活用促進 ● 木材の需要確保及び市産材製品の安定流通の実現 ● 三輪素麺などの地場産業の魅力化
	企業誘致の推進を図るための施策の推進	● 研究拠点、本社機能、情報通信業、成長分野等、戦略的な企業誘致活動の展開 ● 企業立地促進補助金等の優遇制度の拡充
集積を活かした 3 次産業の充実	商業の活性化	● 空き店舗等の活用、企業誘致による商業・賑わいの創出
	観光産業の育成・支援	● 地域の観光を担う観光協会・まちづくり会社の育成・支援・役割強化 ● まち全体を使った滞在型・周遊型観光スタイル、旅行商品の創出（民）
6 次産業化による地域の価値向上	産業コーディネートによる新たな産業の創出	● 新事業展開を図る農家・企業への支援 ● 魅力ある土産物の創出・発掘・発信
	NAFIC※ ¹ 、山の辺の道を中心とした賑わい創出	● NAFIC を中心とした賑わいづくり ● 芸術村～NAFIC の連携（県）
就業支援の充実	就業支援の充実及びしごとの創出	● ジョブカフェやハローワークとの連携による就業支援 ● 起業支援によるしごとの創出
	プロフェッショナルの活用	● 国のプロフェッショナル人材戦略を活用した地域人材の創出・就業支援（国）
	定住・転入促進体制の構築	● 誰もが住みやすい住宅環境の整備（県）
	既存住宅ストックの有効活用	● 地域実態に応じた住生活の維持、向上
情報発信の強化	働く場、産業の魅力の情報発信強化	● 雇用の掘り起こしとマッチング支援

※ 1 NAFIC…なら食と農の魅力創造国際大学校

基本目標② 地域資源を活用し来訪を促進する戦略的プロジェクト

＜まちの将来の姿＞

桜井市の自然環境や歴史・文化を最大限に活用し、ストレスなく観光できる環境を整備するとともに、農林業等と連携した体験型観光メニューやプロモーション戦略の強化により、ブランド力を高めた観光資源の情報を発信することで、大都市圏及び海外から桜井市を訪れる人（交流人口）や、さらに地域とつながりを持つ人（関係人口）が増え、地域が潤っています。

■地域資源を活用し来訪を促進する戦略的プロジェクトの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
桜井市全体のブランド化	桜井市全体のブランド化	● 歴史的なまちづくり（長谷寺門前町周辺地区、大神神社参道周辺地区、桜井駅周辺地区等）の推進
	地場産品の地域ブランド化	● 大和さくらいブランド認定の推進
	農村資源を活用した賑わいの創出	● 農村周遊自転車ルート整備（県） ● NAFIC 周辺の賑わいづくり（県）
資源周辺の環境整備	観光地等の環境整備	● 観光地や観光地までのルート上の環境・景観整備による観光地の質の向上 ● 周遊観光の利便性を高める道路整備の推進
	案内サインの整備促進	● 歩行者系案内サインの設置など観光案内サインの充実 ● 案内サインの多言語表示の推進
観光プロモーションの充実	広域的な観光連携、観光プロモーション	● 奈良県・DMO・周辺市町村等と連携した体験メニューの開拓や、宿泊者等の特典づくり・サービス向上などのおもてなしプロジェクトの推進 ● 世界文化遺産登録の推進 ● 地域の特色ある「食」と「農」を活かした宿泊施設等の整備と施設のネットワーク化の推進（県） ● サイクルツーリズム・アグリツーリズム・ガストロノミーツーリズムの推進、ストーリー・体験型観光の提供（民）
	観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の充実	● 観光客の来訪促進 ● レベルの高い通訳ガイド等の育成・活用
積極的な情報発信	積極的な国内外への観光情報発信	● SNS やメディアと連携した情報発信 ● 首都圏情報発信プロジェクトの推進

基本目標③ 子育て世代に選ばれるまちづくり戦略的プロジェクト

＜まちの将来の姿＞

仕事と家庭、子育て、地域活動などを両立できるような、切れ目のない支援や地域全体で見守ることができる環境、子どもの学力を高める教育環境が整備された、子育てしやすいまちとして情報発信を行うことで、子育て世代の移住者が増えています。

■子育て世代に選ばれるまちづくり戦略的プロジェクトの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
子育て施設等の整備	保育・教育の施設整備の推進	● 保育所、幼稚園などの運営や学童保育環境の向上
	子どもの遊び場の充実	● 安全に遊ぶことのできる公園・広場などの整備・管理
子育て支援の充実	子育ての悩みを地域全体で見守る環境の充実	● 子育てに悩んだ時などに気軽に相談できる環境、子どもと保護者を対象にした講座等の充実
	子どもの健やかな育ちの実現	● 子どもと親の健康の確保 ● 不妊・不育治療費の補助
子育てしやすい環境整備	女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進	● 男女共同参画推進に関する講演会・セミナーの開催、女性の就業支援
	サポート体制の充実	● 子育てしながら社会参加・就労し続けることができるサポート体制の充実
学力を高める教育環境の整備	学力を高める教育環境の整備	● 語学力、国際力の向上 ● 学校教育の ICT 化に向けた環境整備の推進 ● 学力向上のための桜井市独自の学力・学習調査の実施
	人間性豊かな子どもを育む教育の充実	● 歴史・文化・地域産業を学ぶ機会の提供
情報発信体験場提供	子育てしやすい桜井市の PR	● ひみっこぱーくや桜井市独自の子育て支援施策の情報発信

基本目標④ 誰もが安心して快適に暮らせる コンパクトなまちづくり戦略的プロジェクト

<まちの将来の姿>

都市機能誘導区域・居住誘導区域内の都市基盤や都市機能、健康・福祉施設の整備を進めるとともに、サブ拠点、中山間地域の小さな拠点などとの交通ネットワークを形成することで誰もが快適に、安全・安心に暮らしています。また、一人ひとりの人権が尊重され、それぞれの立場や価値観を認め合って生活しています。

■ 誰もが安心して快適に暮らせるコンパクトなまちづくり戦略的プロジェクトの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
利用しやすい健康・福祉環境の形成	福祉サービスの充実	● 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築 ● ボランティア等により提供される住民主体のサービスの充実
	地域医療提供体制の充実	● 地域の医療機関による連携体制及び地域医療提供体制の構築
	健康づくりの推進	● 自己の健康維持に対する支援
安全な都市基盤の形成	社会資本の効率的・効果的な維持管理の推進	● 道路、橋梁、トンネル等のインフラ施設の長寿命化及び維持管理の推進
	都市機能を強化するための都市基盤の整備	● 市民生活の利便性向上や産業の誘致促進などにつながる道路の整備（県）
集約された都市機能の充実	都市機能誘導区域・居住誘導区域内の重点的なまちづくり	● 地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりの推進
	安心して住み続けられる地域づくり	● 駅前でのシンボル（広場空間）の創出と継続的なイベント開催による交流の場づくり（民） ● 空き家の再生、利活用の促進 ● 公営住宅ストックの効率的で円滑な更新
公共交通ネットワークの充実	誰もが安心して暮らせる移動手段の確保	● 中山間地域等も含め、移動ニーズに応じた持続可能な交通サービスの確保
安全・安心な環境整備	災害に強い地域づくり・強靱なまちづくりの推進	● 災害に強いインフラ整備や通信ネットワークの構築 ● 災害対策機能などの強化
	自助・共助・公助による安全・安心の確保	● 官民の役割分担を明確にした安全・安心システムの構築
	誰もが活躍できる環境づくりの推進	● 安心して移動できる歩行空間のバリアフリー化
拠点整備（サブ拠点・小さな拠点）	県との包括協定によるまちづくりの推進	● 奈良県や民間との連携・協力による拠点のまちづくり事業の推進
	地域住民の暮らしを守る集落づくり	● 生活利便性や地域コミュニティの維持確保（国）
全ての人が自分らしく活き活きと暮らせる環境整備	一人ひとりの人権が尊重される地域づくりの推進	● あらゆる人権問題の解決を図るための啓発・教育の実施